

ANABAS
audio

CD ラジオ

CD-T01

取扱説明書

保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店などが
記入されていることをご確認ください。



ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後まで
お読みのうえ正しくお使いください。

日本国内専用

FOR USE IN JAPAN ONLY

お買い上げいただきありがとうございました。

なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

目

● 安全上のご注意.....	2
● 梱包品.....	5
● 各部の名前.....	6
● 基本的な使い方.....	8
● 電源を準備する.....	8
● 電源の入り・切り.....	9
● 機能を切り替える.....	9
● 音量を調整する.....	9
● CD 取扱上のご注意.....	10
● CD の聞き方.....	11
● CD を初めて使う前に.....	11
● CD を再生する前の準備.....	11
● CD を再生する.....	12
● CD を繰り返し再生する.....	13
● CD の再生順を設定する(プログラム再生).....	14
● ラジオの聞き方.....	15
● アンテナを調整する.....	15
● 受信できる局を探す(サーチ).....	16

次

● よく聞く局を登録する(プリセット).....	16
● プリセットボタンに登録する.....	17
● プリセットした局を聞く.....	18
● その他の使い方.....	18
● イヤホン端子の使い方.....	18
● 外部入力端子の使い方.....	19
● スリープタイマーの使い方.....	19
● お手入れ.....	20
● 本体のお手入れ.....	20
● 電源プラグのお手入れ.....	20
● ピックアップレンズのお手入れ.....	20
● 故障かな?と思ったら.....	21
● 仕様.....	22
● 保証とアフターサービス.....	23
● アフターサービスについて.....	23
● 保証書.....	24

● 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は、次のようになっています。

■【記号の意味】

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---------------------------------	---	--------------------------------

■【本文中に使われている絵表示の意味】

 禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 指示を守る	 プラグを抜く
--	---	--	--	--	---

⚠ 警 告



プラグを
抜く

発煙や変なにおいがするときは、
すぐに電源プラグをコンセントから
抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因
となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げ
の販売店に修理をご依頼ください。



プラグを
抜く

電源コードが傷んだり、電源プラグ
が発熱したときは、電源プラグ
が冷えたのを確認しコンセントから
抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因
となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販
売店に交換をご依頼ください。



確実に
差し込む

電源プラグは交流100Vコンセ
ントに根元まで確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・
感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因と
なります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差し
しない

感電の原因となります。



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上
げの販売店にご依頼ください。



禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ・電
源コードに触れない
野外で使用していて、雷が鳴り出
したら、アンテナをまとめて安全
な場所に避難する

感電の原因となります。

警告



プラグを
抜く

落としたり、強い衝撃を与えて
キャビネットを破損したときは、
すぐに電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因
となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼くだ
さい。



つぎのこと
を守る

電源コードを取り扱うときは、つ
ぎのことを守る

- ・傷つけない
- ・延長するなど加工しない
- ・加熱しない・引っ張らない
- ・重い物を載せない・はさんだりしない
- ・無理に曲げない・ねじらない
- ・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



入れない

機器の上に物を置いたり、異物
を入れたりしない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙
などの燃えやすい物が内部に入った場合、
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水が
かかったり、湿気の多い場所に置
いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注
意ください。



プラグを
抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐ
に電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因
となります。お買い上げの販売店に点検
をご依頼ください。



ほこりを
とる

電源プラグの刃や刃の取り付け
面にゴミやほこりが付着している
場合は、電源プラグを抜きゴミや
ほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の
原因となります。



禁止

次のような場所には置かない

- ・風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
 - ・雨、きりなどが直接入り込むような場所
 - ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・炎天下の車内・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所
 - ・振動の強い場所
 - ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
 - ・極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
 - ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
- 火災・感電の原因となります。

注意



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード
型など）をしたディスクを使用すると、高
速回転によりディスクが飛び出し、けがの
原因となります。



禁止

ひびわれ、変形、接着剤で補修
したディスクを使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けが
の原因となります。

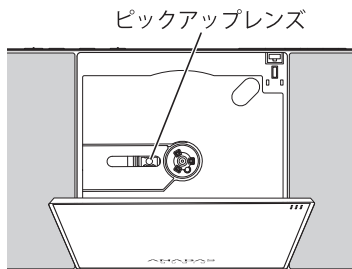
⚠ 注 意



禁止

ディスクのピックアップレンズをのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



禁止

機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

ディスクが回転中は手を触れない

回転中にディスクに触れるとけがの原因となります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

長時間で使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



禁止

持ち運ぶときは、アンテナをまとめ、電源プラグをコンセントから抜く

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



指示を守る

音量に注意

- ・初めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷つけることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- ・電源を入れたときの音量は、「**U20**」となります。音量は調整してからお使いください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

- ・壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）
 - ・押入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
 - ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
 - ・じゅうたんや布団の上に置かない
 - ・あお向け・横倒し・逆さまにしない
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



プラグを抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



指示を守る

結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する

寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、本機やディスクのピックアップレンズなどに結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このような時は電源プラグを抜き、CDを取り出して、1時間ほどその状態で放置し結露がとれてからご使用ください。

⚠ 注 意



乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る。

指示を守る

- 単3形乾電池以外の電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- 本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない
- 長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す
- 水に濡らしたり、濡れた手で触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。

もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。

器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 著作権について

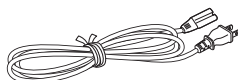
- 音楽、映像などは著作権法により、その著作物および著作権者が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみおこなうことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製、改変などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

● 梱包品

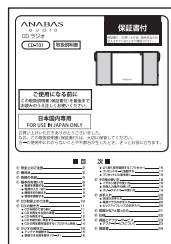
ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お問い合わせになられた販売店または当社のサービスセンターまでご連絡ください。



CD ラジオ
CD-T01 (本機)

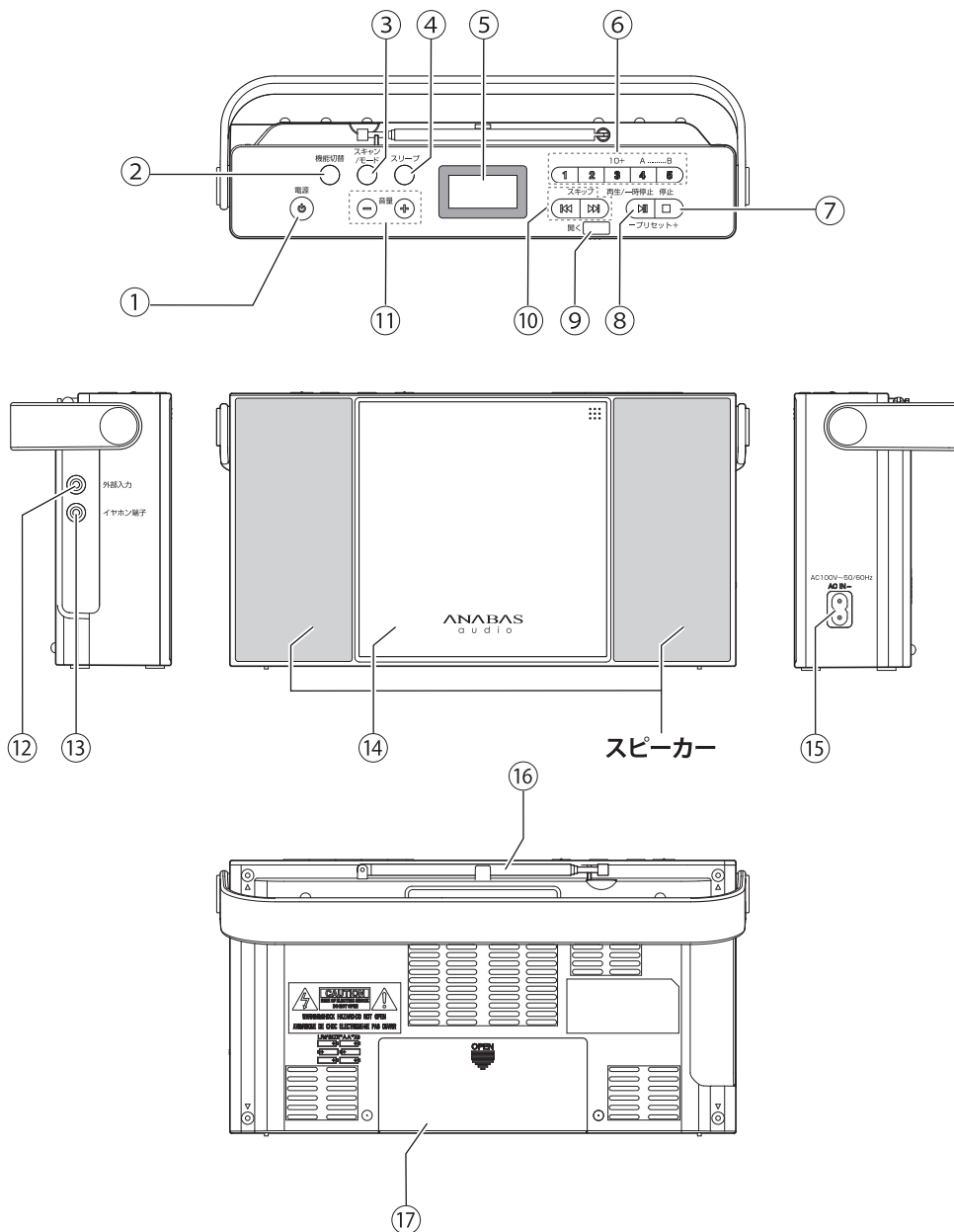


電源コード



保証書付き取扱説明書
(本書)

各部の名前

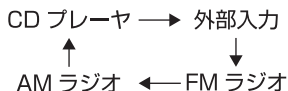


① 電源ボタン

電源が入ります。

② 機能切替ボタン

機能が以下のように切り替わります。



③ スキャン/モードボタン

CD：CDの1曲または全曲を繰り返し再生、または曲をランダムに再生をします。

CD：CDの停止中に、曲を再生する順番をプログラムします。

ラジオ：よくお聞きになる放送局をFM30局、AM30局の計60局まで登録できます。

④ スリープボタン

電源が切れるまでの時間を設定します。

⑤ 表示部

電源が入ると点灯します。

前回使用した機能を表示します。

(但し、曲を再生する順番のプログラムは消去されます。)

⑥ プリセットボタン

CD：【3 10+】を押すと、10曲先の曲を再生します。

CD：再生中に【4 A】を押し、次に【5 B】を押すと、その間を繰り返し再生します。

ラジオ：よくお聞きになる放送局を各ボタンに登録します。

⑦ 停止/プリセット+ボタン

CD：CDの再生を停止します。

ラジオ：押すたびに、登録番号が1つ増え、次の放送局に切り替わります。

⑧ 再生/一時停止/プリセット-ボタン

CD：CDの再生と一時停止を切り替えます。

ラジオ：押すたびに、登録番号が1つ減り、次の放送局に切り替わります。

⑨ 開くボタン

CDドアを開きます。

⑩ スキップボタン

CD：◀◀ボタンを押すと、CDの前の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早戻しになります。

CD：▶▶ボタンを押すと、CDの次の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早送りになります。

ラジオ：◀◀ボタンを押すと、周波数は減少して変わります。長く押すと、周波数は減少して、受信できる放送局をサーチします。

ラジオ：▶▶ボタンを押すと、周波数は増加して変わります。長く押すと、周波数は増加して、受信できる放送局をサーチします。

⑪ 音量ボタン

スピーカーまたはイヤホンの音量を調整します。

+ボタンを押すと、音量は増加します。

-ボタンを押すと、音量は減少します。

⑫ 外部入力端子

テレビの音声出力端子やスマートフォンのイヤホン端子などを接続すると、本機のスピーカーから接続した機器の音声が出ます。

※ Φ3.5mmステレオ端子接続ケーブルは付属していません。

⑬ イヤホン端子

お持ちのイヤホンまたはヘッドホンを接続してください。

※ イヤホンを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

⑭ CDドア

【開く】ボタンを押すと、開きます。

⑮ 電源コード接続端子

付属の電源コードを差し込みます。

※ 接続するコードは必ず付属の電源コードを接続してください。他のコードを接続すると感電や火災の原因となることがあります。

⑯ FMアンテナ

FM放送を受信時には、伸ばして使用してください。

⑰ 電池ケースふた

このふたを外して、単3形乾電池を6本入れます。

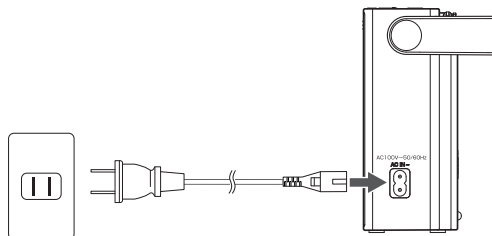
● 基本的な使い方

● 電源を準備する

家庭用電源または乾電池のいずれかで使用します。

● 家庭用電源を使う

1. 本機右側面の電源コード接続端子に電源コードを接続します。
2. 接続した電源コードを交流 100V のコンセントに接続します。



※ 接続するコードは必ず付属の電源コードを接続してください。他のコードを接続すると火災や感電の原因となることがあります。

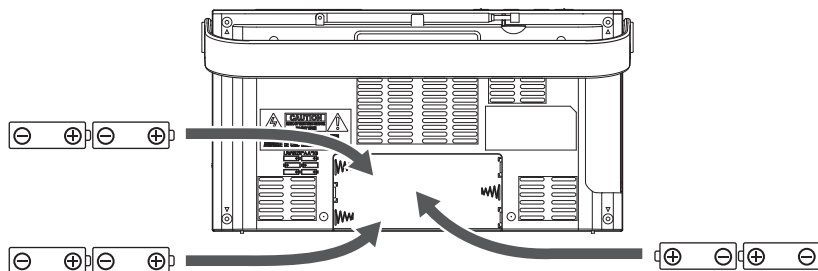
※ 濡れた手で電源コードの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。

● 乾電池を使う



※ 電池は付属されていません。単 3 形アルカリ乾電池を推奨いたします。単 3 形アルカリ乾電池を 6 本お買い求めください。

1. 本機背面の電池ケースふたを開きます。
2. 単 3 形乾電池の極性を確かめながら、乾電池を 6 本電池ケースに入れます。

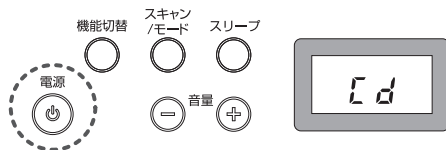


3. 電池ケースふたを閉めます。

●電源の入り・切り

1. 電源を入れるには、【電源 〇】ボタンを押します。

- 電源が入り、電源を切る前に使っていた機能を表示します。



2. 電源を切るには、【電源 〇】ボタンを押します。

●機能を切り替える

1. 【電源 〇】ボタンを押して、電源を入れます。

2. 機能を切り替えるには、【機能切替】ボタンを押します。



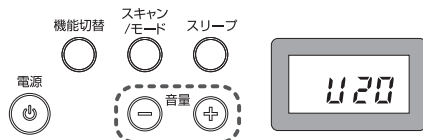
- 【機能切替】ボタンを押すたびに、表示部と機能が以下のように切り替わります。



●音量を調整する

1. 音量を上げるには、【音量+】ボタンを押します。

音量を下げるには、【音量-】ボタンを押します。



- 音量は100～132の間で設定できます。
- 音量は電源を入れ直すと、120の設定になります。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出して耳を傷めるおそれがあります。

● CD 取扱上のご注意

● 使用できるCDについて



マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

- コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保障はしかねます。

■ CD-R/RW ディスクについて

- この商品は、CD-DAフォーマットで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み取りに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクに傷をつけることがあります。
- MP3/WMA/WMV ファイルを収録したディスクは再生できません。
- VCD (ビデオCD) は再生できません。

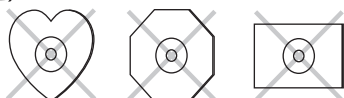
※ メディアの種類、録音時の設定（書き込みスピードなど）によっては再生できないか、音質が著しく悪い場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 以下のCD、光ディスクは絶対に再生させないでください。

- DVD (音楽DVD含む)
- 音楽CDではないCD (データ記録用のものなど)
- 録音されていないCD-R/RW

※ 上記のものを再生すると大音量でスピーカーが破損、また、お聞きになった方の聴力に障害を及ぼす危険があります。

- 円形以外のCD、CD-R (ハート形、名刺形など)



※ 上記のものを再生すると回転時に遠心力が不均等に働き、本体を破損させるおそれがあります。

● CD 取扱上の注意

再生面、レーベル面ともにシールを貼ったり、傷をつけないようにしてください。

■ 持ち方

再生面、レーベル面に触れないよう、図のように持ちます。



■ お手入れの方法

ディスクに指紋や汚れがついた場合は、やわらかい布で放射状に拭き取ります。

レコードのように円状に拭かないでください。



※ 市販のCDクリーニングキットを使うとより効果的です。

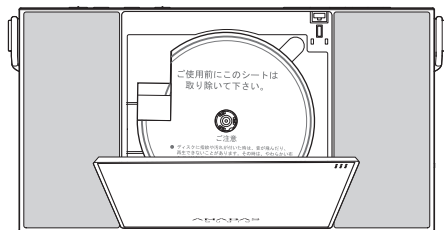
鑑賞し終わったCDは本体に入れたままにせず、ケースに入れて保存してください。

● CD の聞き方

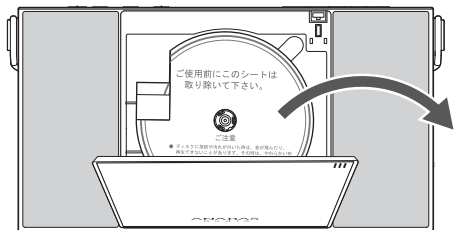
● CD を初めて使う前に

購入時にはCD挿入部にレンズ保護紙が取り付けられています。CDをセットする前に、必ずこのレンズ保護紙を外してからご使用ください。

1. 【開く】ボタンを押し、CDドアを開けます。



2. レンズ保護紙を取り外します。



※ レンズには触れないよう注意してください。

● CD を再生する前の準備

1. 【機能切替】ボタンを何度か押し、機能をCDに切り替えます。

- 「CD」が表示されます。



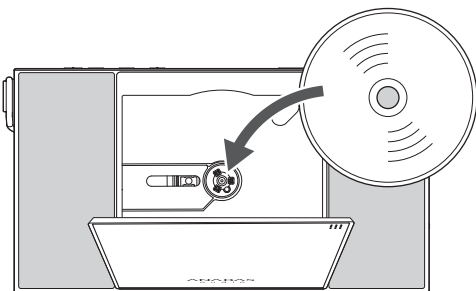
2. 【開く】ボタンを押し、CDドアを開けます。

- 「OPEN」が表示されます。

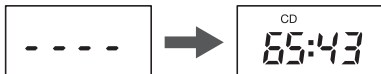


※ CDドアを開けたときに、CDのピックアップレンズを触ったり、傷付けないでください。CDが再生されなくなることがあります。

3. CDを挿入し、CDドアを閉じます。



- CDドアを閉じると、「―――」が表示され、CDの総演奏時間の分と秒数が表示されます。



総再生時間

- CDが挿入されずにCDドアを閉じると、「―――」が表示され、「NO」が表示されます。



CDが挿入されていないとき

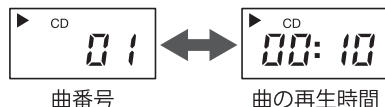
- CDドアは、確実に閉じてください。CDドアが確実に閉まっていないとCDは再生されません。

● CDを再生する

1. 【再生/一時停止 ▶||】ボタンを押します。



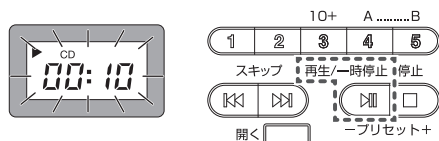
- 最初の曲から再生が始まり、再生中の曲番号が表示されます。その後は曲番号と曲の再生時間が交互に表示されます。



- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。
- CD再生中にCDドアを開けると、CDの再生は停止します。

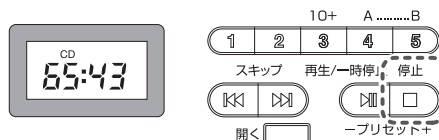
※ CDドアを開いてCDが回転している間は、CDに触れないでください。けがの原因になります。また、本機やCDの故障や破損の原因になります。

2. 再生を一時停止するには、再生中に【再生/一時停止 ▶||】ボタンを押します。



- 一時停止中は、再生時間が点滅します。
- 一時停止を解除するには、【再生/一時停止 ▶||】ボタンを押します。

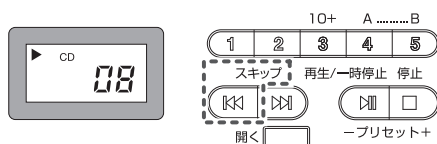
3. CDを停止するには、【停止 ■】ボタンを押します。



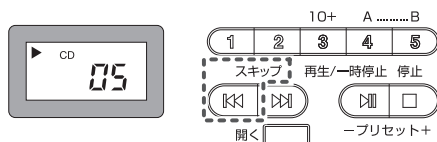
- CDの回転が止まり、総再生時間の表示に変わります。
- 再生中に電源コードを抜くと本機の故障の原因となることがあります。必ずCDが停止したのを確認してから電源コードを抜いてください。

● 曲の始めに移動する

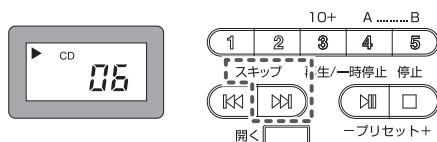
1. 再生中の曲の始めに戻るには、【スキップ ◀◀】ボタンを1回押します。



2. 聞きたい前の曲に戻るには、【スキップ ◀◀】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。

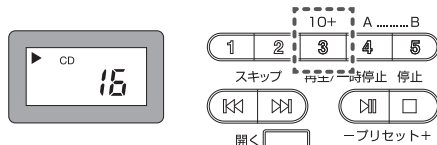


3. 聞きたい次の曲に進むには、【スキップ ▶▶】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



- 停止または一時停止中に、【スキップー】または【スキップ+】ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めることもできます。

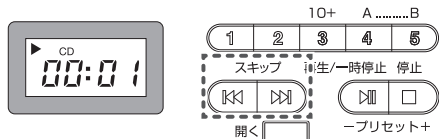
4. 10トラック先の曲に進むには、【3 10+】ボタンを押します。



- 停止または一時停止中に、【3 10+】ボタンを押しても10トラック先の曲に進めます。
- 残りのトラック数が10トラックに満たない場合は、最後の曲に進みます。

● 早送り / 早戻し再生をする

1. 早送り / 早戻し再生するには、再生中に1秒以上【スキップ◀◀】または【スキップ▶▶】ボタンを押し続けます。

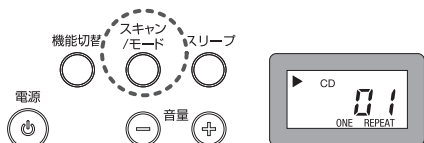


- 早送りは曲を越えて行うことができます。
- 早戻しは曲の初めまで戻ると、自動で再生が始まります。

● CDを繰り返し再生する

● 1曲のみ繰り返し再生する (1リピート)

1. 【スキャン/モード】ボタンを1回押します。



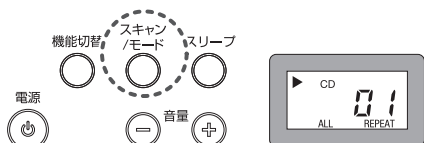
- 「ONE REPEAT」が表示され、1リピートが始まります。
- 1リピートでは、曲の再生が終わると、曲の初めに戻り、再生を続けます。

2. 1リピートを解除するには、【スキャン/モード】ボタンを3回押します。

- 1リピートが解除され、通常の再生に戻ります。(再生中でも【スキャン/モード】ボタンを3回押すと1リピートは解除されます。)

● 全曲を繰り返し再生する (オールリピート)

1. 【スキャン/モード】ボタンを2回押します。



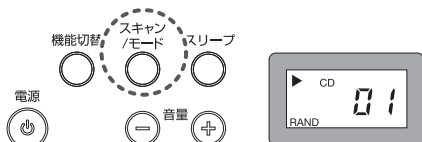
- 「ALL REPEAT」が表示され、オールリピートが始まります。
- オールリピートでは、最後の曲の再生が終わると、CDの初めに戻り、再生を続けます。

2. オールリピートを解除するには、【スキャン/モード】ボタンを2回押します。

- オールリピートが解除され、通常の再生に戻ります。(再生中でも【スキャン/モード】ボタンを2回押すとオールリピートは解除されます。)

● CDをランダムに再生する (ランダム再生)

1. 【スキャン/モード】ボタンを3回押します。



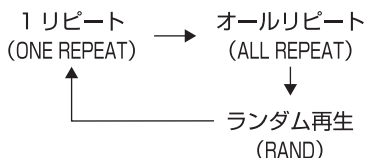
- 「RAND」が表示され、ランダム再生が始まります。
- 再生中または停止中にかかわらず、全ての曲をランダムに再生し、全ての曲の再生が終わると停止します。
- ランダム再生中に、【スキップ◀◀】または【スキップ▶▶】ボタンを押すとランダムに次の曲を選び再生します。【スキップ◀◀】ボタンを押しても元の曲には戻りません。

2. ランダム再生を解除するには、【スキャン/モード】ボタンを1回押します。

- ランダム再生中に【スキャン/モード】ボタンを1回押すと、ランダム再生は解除され、現在再生の曲が終わると、次のトラックの曲が再生されます。

● リピートについて

- 【スキャン/モード】ボタンを押すごとに、リピートは以下の順に変わります。



- 一時停止中は、【スキップ◀◀】または【スキップ▶▶】ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めると、選んだ曲で1リピート、オールリピートまたはランダム再生をおこないます。
- 【停止■】ボタンを押して、再生を停止すると、1リピート、オールリピートまたはランダム再生は解除されます。

● 任意の区間を繰り返し再生する (A-Bリピート)

1. 再生中に、繰り返し再生したい区間の開始点(A)で[4 A]ボタンを押します。次に、繰り返し再生したい区間の終了点(B)で[5 B]ボタンを押します。



- 「REPEAT A-B」が表示され、A-B間での繰り返し再生が始まります。

2. A-Bリピートを解除するには、[4 A]または[5 B]ボタンを押します。

- A-Bリピートを解除した位置から通常の再生に戻ります。

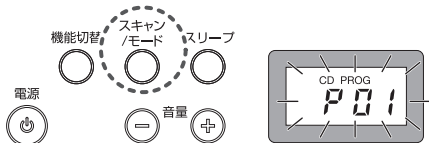
● CDの再生順を設定する (プログラム再生)

CDの曲をお好みの順番でプログラムして再生することができます。

1. [停止 ■] ボタンを押して、再生を停止します。

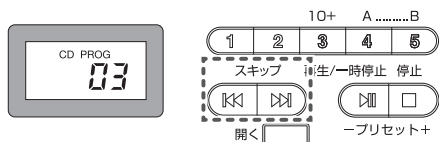
- 再生中は、プログラムを行うことはできません。必ず再生を停止してください。

2. [スキャン/モード] ボタンを押します。

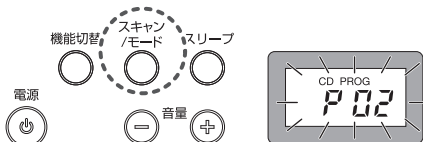


- 「PROG」と「P01」が点滅表示されます。

3. [スキップ◀◀]または[スキップ▶▶]ボタンを押して、再生したい曲を選びます。



4. [スキャン/モード] ボタンを押します。

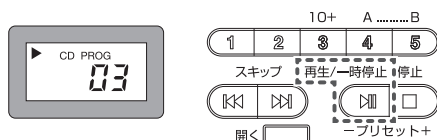


- 1曲目がプログラムされました。
- 「PROG」と「P02」が点滅表示して、プログラム再生したい曲の選択を待っています。

5. 手順3.と4.を繰り返し、再生したい曲をプログラムします。

- 20曲までプログラムできます。
- 20曲までプログラムすると「FULL」が表示されます。

6. プログラム再生を始めるには、[再生/一時停止▶▶]ボタンを押します。



- プログラムが終了し、プログラム再生が始まります。
- プログラムでの再生が終わると、プログラム再生待ち状態になります。[再生] ボタンを押すと、再度プログラム再生が始まります。
- プログラム再生中も、一時停止または停止が可能です。
- プログラム再生中に[スキップ◀◀]または[スキップ▶▶] ボタンを押すと、プログラムした曲の前または次に移動することができます。
- プログラム再生中に1リピートをおこなうと、再生中の曲の1リピートをおこないます。
- プログラム再生中にオールリピートをおこなうと、プログラムした曲でオールリピートをおこないます。
- プログラム再生中に停止し、[スキャン/モード] ボタンを押すと、01が点滅表示され、プログラムの変更をおこなうことができます。手順3.と4.を繰り返し、再生したい曲をプログラムしてください。

7. プログラムを消去するには、[停止 ■] ボタンを一度押して停止し、再度[停止 ■] ボタンを押します。

- プログラムでの再生が終わり、[停止 ■] ボタンを押すと、プログラムは消去されます。
- 電源を切るとプログラムは消去されます。

● ラジオの聞き方

本機はワイドFM (FM補完放送) に対応しています。ワイドFM(FM補完放送)とはAM(中波)放送局のエリアにおいて難聴対策や災害対策を目的としてFM放送の90.1～94.9MHz周波数を用いてAM放送をすることです。

1. 【機能切替】ボタンを何度か押し、機能をFMまたはAMに切り替えます。



- 「FM」とFMの周波数(MHz)または「AM」とAMの周波数(kHz)が表示されます。



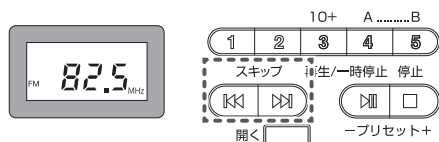
FM ラジオ選択時



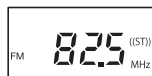
AM ラジオ選択時

- ワイドFM (FM補完放送) をお聞きになるときは、FMを選択してください。

2. 【スキップ◀◀】または【スキップ▶▶】ボタンを短く押して聞きたい局に合わせます。



- ステレオ放送を受信すると、「((ST))」が表示されます。

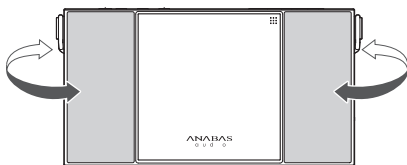


ステレオ放送受信時

- パソコンなどの電子機器が近くにあると、音声にノイズが入ったり、受信できないことがあります。パソコンなどの電子機器からは離してお使いください。

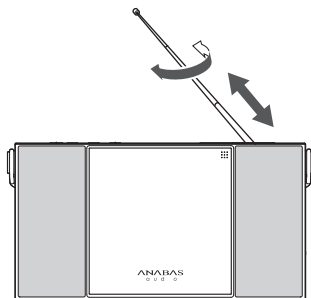
● アンテナを調整する

1. AM局を受信するには、AM局のアンテナは内蔵式ですので、本機の向きを変えます。



2. FM局を受信するには、本機背面のFMアンテナの位置を最も聞き取りやすくなる位置に設置します。

- FMアンテナはパソコンなどの電子機器からは、離して設置してください。



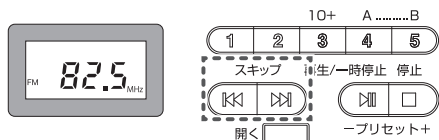
● 受信できる局を探す (サーチ)

受信できる局を自動で探すことができます。

1. 【機能切替】 ボタンを何度か押し、機能をFMまたはAMに切り替えます。



2. 【スキップ◀◀】または【スキップ▶▶】 ボタンを長押しします。



- ボタンから指を離しても、受信できる局になるまで、自動で周波数が変わります。
- 【スキップ◀◀】または【スキップ▶▶】 ボタンを押すと、サーチは止まります。

3. 自動で受信できたことを確認します。

※電波の状態などにより、サーチをおこなっても受信できないことがあります。

● よく聞く局を登録する (プリセット)

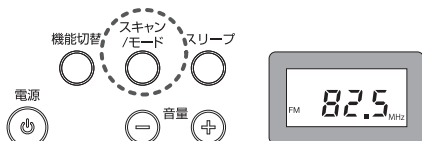
よくお聞きになる局をFM30局、AM30局の計60局まで登録できます。

- 自動でプリセットする

1. 【機能切替】 ボタンを何度か押し、機能をFMまたはAMに切り替えます。



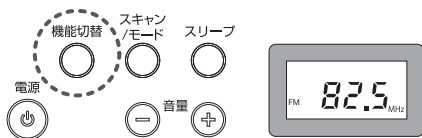
2. 【スキャン/モード】 ボタンを長押しします。



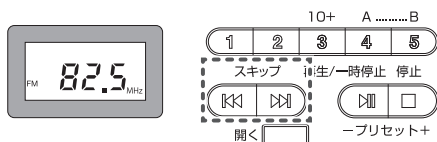
- 自動で周波数が変わり、プリセットが行われます。
- 【スキャン/モード】 を短く押すと、手動でのプリセットになります。

- 手動でプリセットする

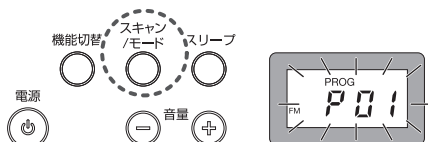
1. 【機能切替】 ボタンを何度か押し、機能をFMまたはAMに切り替えます。



2. 【スキップ◀◀】または【スキップ▶▶】 ボタンを短く押し、登録したい局に合わせます。

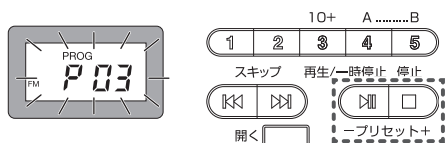


3. 【スキャン/モード】ボタンを短く押し ます。

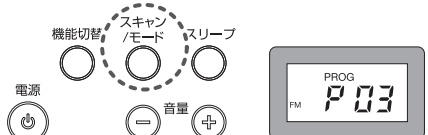


- プリセット番号が点滅表示されます。
- 【スキャン/モード】を長く押しと、自動でのプリセットになります。

4. 【プリセット+▶】または【プリセット+■】ボタンを押して、プリセット番号を選択します。



5. 選択したプリセット番号を決定するには、【スキャン/モード】ボタンを短く押しします。



- プリセット番号が点滅から点灯に変わり、その後、元の周波数表示に戻ります。



6. 手順2.～5.を繰り返し、よく聞く局を登録します。

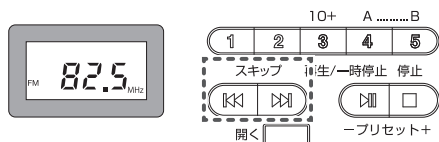
●プリセットボタンに登録する

更によくお聞きになる5局をプリセットボタンに登録できます。

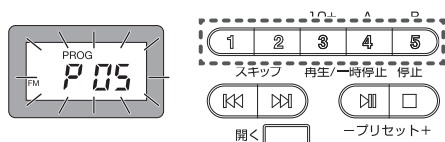
1. 【機能切替】ボタンを何度か押し、機能をFMまたはAMに切り替えます。



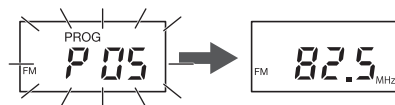
2. 【スキップ◀◀】または【スキップ▶▶】ボタンを短く押し、登録したい局に合わせます。



3. 登録したいプリセットボタンを長押しします。



- プリセットボタンのプリセット番号が点滅表示し、その後、元の周波数表示に戻ります。

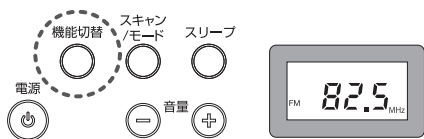


- 自動でプリセットを行うと、プリセットボタンに登録した局も、自動でプリセットした局に上書きされます。
- 手動でプリセットを行うときに、既にプリセットボタンに登録した局がある場合は、プリセット番号のP01～P05は避けて、P06からプリセットを行ってください。プリセット番号のP01～P05を選ぶと、プリセットボタンに登録した局が上書きされます。

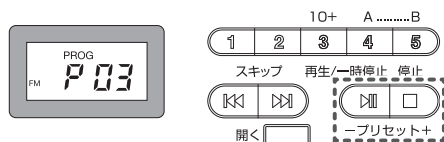
● プリセットした局を聞く

● プリセットに登録した局を聞く

1. 【機能切替】ボタンを何度か押し、機能をFMまたはAMに切り替えます。



2. 【プリセット▶】または【プリセット+■】ボタンを押して、聞きたい局のプリセット番号を選択します。

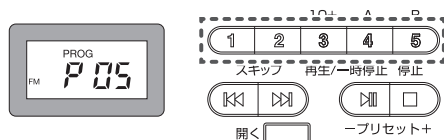


● プリセットボタンに登録した局を聞く

1. 【機能切替】ボタンを何度か押し、機能をFMまたはAMに切り替えます。



2. 聞きたい局のプリセットボタンを押します。



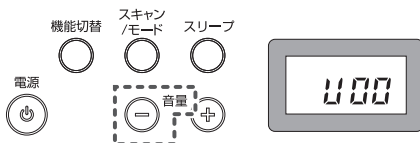
- プリセット番号が表示され、その後、登録した局の周波数が表示れます。

● その他の使い方

● イヤホン端子の使い方

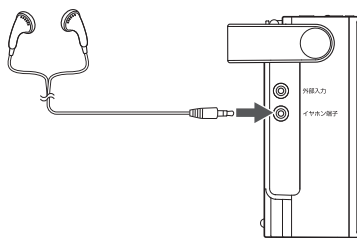
お持ちのΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンをお使いいただけます。イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のイヤホンまたはヘッドホンをお買い求めください。

1. 【音量-】ボタンを押し、音量を最小「000」にします。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

2. イヤホン端子にΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンケーブルを接続します。



- イヤホンまたはヘッドホンケーブルが接続されると、スピーカーから音は出なくなります。
- イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のイヤホンまたはヘッドホンをお買い求めください。

3. 【機能切替】ボタンを何度か押し、選んだ機能の再生をおこないます。

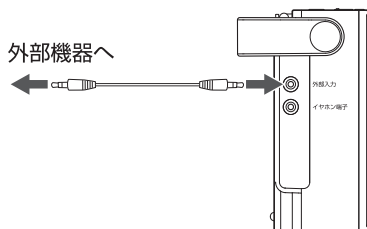
4. 【音量+】ボタンを何度か押し、聞きやすい音量にします。

● 外部入力端子の使い方

外部入力端子を使って、お持ちのテレビやスマートフォンの音声を本機のスピーカーで再生できます。

1. Φ3.5mmのステレオケーブルを再生したい機器に接続します。

2. 本機の外部入力端子にケーブルのもう一方の端を接続します。



※Φ3.5mmステレオケーブルは付属していません。市販の接続ケーブルをお買い求めください。

3. 【機能切替】ボタンを何度か押し、機能を外部入力(AUX)に切り替えます。



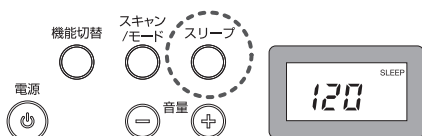
4. 接続した機器の再生をおこないます。

- 本機のスピーカーから接続した機器の音声が再生されます。

● スリープタイマーの使い方

電源が切れるまでの時間を設定できます。

1. 【スリープ】ボタンを何度か押し、電源が切れるまでの時間(分)を設定します。



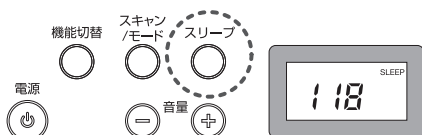
- 【スリープ】ボタンを押すたびに電源が切れるまでの時間を、120分間から5分間まで以下のように設定できます。

120→110→100→・・・→30→20→10→5→OFF

- 「OFF」を選択すると、スリープタイマーは設定されません。
- スリープタイマーが設定されると、元の表示に戻り、「SLEEP」が表示されます。

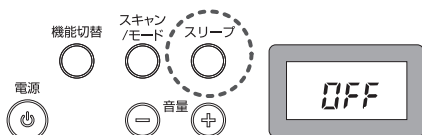


2. スリープタイマーの残り時間を確認するには、【スリープ】ボタンを押します。



- スリープタイマーの残り時間が表示され、その後、元の表示に戻ります。

3. スリープタイマーを解除するには、【スリープ】ボタンを何度か押し、表示をOFFにします。



● お手入れ



- ※ お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※ 電源プラグは絶対に水に浸けないでください。

● 本体のお手入れ

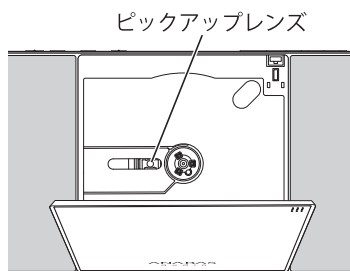
- 本機表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- 本機表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。
- ※ メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。
- ※ みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● 電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- ※ みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● ピックアップレンズのお手入れ

- CD 装着部のピックアップ用レンズが汚れていると、音とびが起きたり、時には再生ができなくなります。レンズについた指紋などの汚れは、新しい綿棒でレンズの中心から外側に向かって軽く円を描くように拭き取ってください。



● 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。
それでもなお異常があるときは使用を中止して、サービスセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
電源が入らない。	● 電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
表示が出ない。	● 電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
音声が聞こえない。	● 音量は適切に調整されていますか。音量を調整してください。 ● お聞きになりたい機能が正しく選ばれていますか。機能切替ボタンして、お聞きになりたい機能を選択してください(P.9)。 ● お聞きになりたい局と周波数は合っていますか。また、AM/FMは正しく選択されていますか。スキップ ◀◀/▶▶ ボタンを押してお聞きになりたい局に周波数を合わせてください。
スピーカーから音声が聞こえない。	● イヤホンまたはヘッドホンがイヤホン接続端子に接続されていませんか。イヤホンまたはヘッドホンが接続されるとスピーカーから音声は出ません。
CDが再生されない。CD再生の音が飛ぶ。CD再生の音質が悪い。	● CDが正しく装着されているかご確認ください。CDが汚れている場合は、クリーニングするか、別のCDで試してみてください。 ● ピックアップレンズが汚れている場合は、クリーニングしてみてください(P.20)。 ● 一時停止状態になっていないかご確認ください。
ラジオの音質が悪い。	● 近くにパソコンなどの電子機器はありませんか。電子機器の影響でラジオの音質が悪くなる場合があります。 ● アンテナの向きは正しいですか。AM放送用のアンテナは内蔵されていますので、AM放送をお聞きの場合は、本機の向きを変えてください。FM放送をお聞きの場合は、本機背面のFMアンテナの位置を変えてください。

仕様

品名	CDラジオ
型名	CD-T01
電源	100 V ~ 50/60 Hz DC 9 V (単3形乾電池×6本) ※乾電池は別売り
消費電力	10 W (待機時 0.8 W)
実用最大出力	1 W + 1 W : 総合 2 W
CD再生可能ディスク	音楽CD、CD-R、CD-RW(CD-DAフォーマットで記録されたディスク) ※ MP3/WMA/WMVなどの圧縮されたファイルは再生できません。
受信周波数	FM 76.0 ~ 108 MHz / AM 522 ~ 1620 kHz
付属品	取扱説明書(保証書付き:本書)、電源コード(長さ 1.5m)
外形寸法	約270(幅)×60(奥行き)×147(高さ) mm (突起部含まず)
本体重量	約1.1 kg

※本機の外観および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは対象外となります。

愛情点検	長年ご使用の機器の点検を!	
	このような 症状はあり ませんか? ● 電源コード、プラグが異常に熱い。 ● 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。 ● 焦げくさい臭いがする。 ● 本体がいつもより異常に熱い。 ● その他異常や故障がある。	故障や事故の防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

● 保証とアフターサービス

● 保証書

- 保証書は、本書に添付されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入内容をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては販売店または弊社にご相談ください。

● 部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際には、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

● 修理を依頼されるときは・・・持ち込み修理

- 「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。
- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

● 保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店または弊社にて修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

● 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 消耗品のご注文は販売店または弊社にご相談ください。

● アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

持込み先または送付先

株式会社太知ホールディングス
サービスセンター

〒110-0005

東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階

☎ 03-5846-7211

メールでのお問い合わせ

E-mail:

taichitky@anabas.co.jp

ホームページ:

<https://www.anabas.co.jp>

電話でのお問い合わせ

☎ 03-5846-7211

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

● 個人情報の取り扱いについて

- 株式会社太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

● 補修修理の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。		
技 術 料		故障した製品を正常に修復するための料金です。
部 品 代		修理に使用した部品代金です。

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED
<https://www.anabas.co.jp>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号 秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先: 電話03-5846-7211 FAX 03-5846-6639